

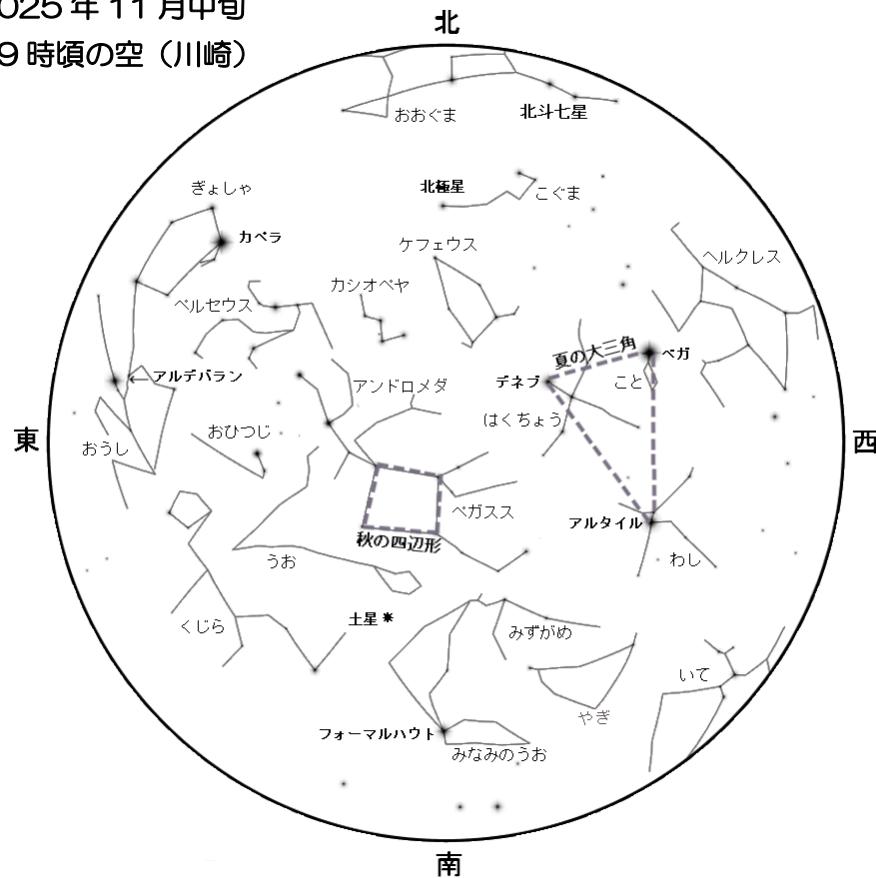
かわさき宙と緑の科学館

# アストロテラス 夜間一般公開

2025年11月1日（土）

\*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2025年11月中旬  
19時頃の空（川崎）



StellaNavigator/アストロアーツ

## 2025年11月の星空

11月の夜空には際立って明るい星は少ないものの、南の空高いところには秋の四辺形を形作るペガス座、頭の真上から北寄りの空にはWの形をしたカシオペヤ座を見ることができます。その他アンドロメダ座、ペルセウス座といった秋を代表する星座が夜空を彩ります。

秋の星座で唯一の1等星はみなみのうお座のフォーマルハウトで、南の空の低いところに輝いています。

明るい星が少ない秋ですが、今年は土星（0.8等）がうお座からみすがめ座の間に見えています。

## これからの天体现象

### ●注目現象

- 11月 2日 後の月（旧暦9月13日の月）
- 5日 このころ、おうし座南流星群が極大（見頃は10月下旬から11月上旬）
- 7日 立冬（太陽黄経225度）
- 12日 このころ、おうし座北流星群が極大（見頃は11月上旬から中旬）
- 18日 しし座流星群極大
- 20日 水星が内合（地球から見て太陽と同じ方向にある）
- 21日 天王星が衝（地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間）

### ●月の満ち欠け

- 11月 5日 満月（今年最も地球に近い満月）
- 12日 下弦
- 20日 新月
- 28日 上弦

# 2025年11月の観望天体(予定)

## 【土星】

土星といえば大きな環が魅力ですね。では、その環はどのくらい明るいか知っていますか？土星の環は氷の粒がたくさん集まってできています、太陽の光をよく反射するのでとても明るく光っています。環が一番傾いて大きく見えるときは、土星全体の明るさの半分以上もあるのです。今年は地球から見て環が細くなっています、ほとんど見えなくなる時期です。このため、土星全体の明るさはいつもより少し暗くなっています。

(環の傾きの変化について詳しくはトピックを参照してください)

## 【月】

月は地球の衛星で、太陽系の衛星の中では5番目の大きさです。11月5日の満月は2025年では最も地球に近く、地球の中心から月の中心までの距離は約35万7,000kmになります。これは2025年で最も遠かった4月13日の距離と比較すると約49,000km近くなり、見た目の大ささ(視直径)では約14パーセント大きく見えます。この機会に大きな月を見てみては？



次回は

12月6日(土)受付時間：18:30～18:50

土星とM45を観察予定です。

先着順で整理券を配布し、番号の順に望遠鏡で観察していただきます。

※雨天・曇天等観察が難しいと予想される場合は中止。

(開催の有無は、当日15時に当館HP・X・Facebookでお知らせします。)

最新の科学館の情報は  
ホームページ・SNSをご確認ください。



アストロテラス夜間一般公開の感想をぜひご記入ください。  
(所要時間1～2分程度)



かわさき  
と  
緑の科学館  
Kawasaki Municipal Science Museum  
サイエンスプリン

## トピック

### 【土星の環の消失】

土星といえば、環を持った惑星として知られていますが、その環が今年“消失”しました。どういうことでしょうか？

土星は太陽のまわりを約30年かけて一周(公転)します。そのため、地球から観た土星の姿も、約30年の周期で変化します。土星の自転軸は26.7度傾いており、環の北側あるいは南側の見える時期が約15年ごとに交互にやってきますが、入れ替わる時は環を真横から見ることになります。環の厚さは10m～1km程度ととても薄いため、このとき地球から土星の環が見えなくなるのです。さらに、土星の環に太陽の光が真横から当たる場合(地球での春分や秋分に相当)や、環の太陽の光が当たっている側と地球から見える側が反対になる場合も、土星の環が見えなくなります。「土星の環の消失」とは、本当に土星の環が消滅する訳ではなくて、このように地球から見たときに土星の環が見えなくなる現象のことを指しています。

2025年には、3月24日(環を真横から見る)と5月7日(太陽の光が真横から当たる)に起こりました。さらに11月25日の前後には、環がほとんど見えなくなる、準消失(環をほぼ真横から見る)という現象が起こります。当館も、アストロテラス夜間公開(11月1日、12月6日)や、[土星特別観望会\(11月22日\(土\)、詳細は科学館だよりか、後日更新予定の科学館ウェブサイトで確認してください！\)](#)で、みんなに見ていたく予定です。

### ぶりんのひとことメモ



みんなは11月2日もお月見の日って知ってるかな？中秋の名月は十五夜だからだいたい丸い月だけど、旧暦9月13日は後の月(のちのつき)と言って、十三夜の少し欠けた月を見て楽しむんだ。栗名月とか豆名月とも呼ばれているから、栗や豆をお供えしてお月見をするのがおすすめだよ。